

令和5年度福島県職員（民間企業等職務経験者）採用候補者試験概要

1 試験区分（職種）、採用予定人員及び職務内容等の一例

試験区分 (職 種)	採用予定 人 員	職 務 内 容 等 の 一 例
行 政 事 務	8名程度	知事部局、教育委員会等の本庁又は出先機関等における、各種施策の企画立案や事業推進、庶務・経理、県税の賦課徴収等の警察事務以外の一般行政の事務に従事します。
農 業 土 木	2名程度	農林水産部等の本庁又は出先機関等における、ほ場整備、農道・かんがい排水設備整備、被災農地復旧、農村環境整備に関する工事の設計・監督等の業務に従事します。
土 木	4名程度	土木部等の本庁又は出先機関等における、道路・河川・港湾・空港等の整備に関する工事の設計・監督、維持管理、都市計画等の業務に従事します。
建 築	2名程度	土木部等の本庁又は出先機関等における、県営住宅の維持管理、建築指導、県有建築物の整備等の業務に従事します。
薬 学	1名程度	保健福祉部等の本庁又は出先機関等における、医薬品等の安全対策、薬事監視・指導、薬務関係許認可、県立病院における調剤、薬剤管理指導等の業務に従事します。
心 理	10名程度	児童相談所、精神保健福祉センター、県立病院等における、児童等への心理診断、心理療法等の業務に従事します。

2 受験資格

【全区分共通】

次のいずれも満たす人

- 昭和39年（1964年）4月2日以降に生まれた人
- 民間企業等における職務経験を5年以上（令和5年7月末日時点）有する人

（注1）民間企業等における職務経験には、会社員、団体職員、自営業者等として、週30時間以上の勤務を1年以上継続して就業していた期間が該当し、公務員としての職務経験やボランティア活動等の期間は含まれません。

（注2）職務経験が複数の場合は通算することができます。ただし、同一期間内に複数の職務に従事した場合は、いずれか一つの職歴に限ります。

（注3）連続して1か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。）は、職務経験から除きます。

（注4）最終合格発表後、職務経験期間の確認のため、職歴証明書等を提出していただきます。

【試験区分別】

全区分共通の受験資格に加えて次の要件を満たす人

試験区分（職 種）	受 験 資 格
建 築	一級建築士の免許を有する人
薬 学	薬剤師の免許を有する人
心 理	公認心理師の資格を有する人

3 試験日時、試験場及び合格者発表

試験	日 時	試 験 場	合格者発表日
第1次試験	令和5年9月24日(日) 受 付 9:30 ~ 10:00 教養試験 10:30 ~ 12:00 論文試験 13:00 ~ 14:00	福 島 大 学	令和5年10月19日(木)
第2次試験	令和5年11月13日(月)・14日(火) のうち指定する1日 ※日時については、第1次試験の合格通知の際 にお知らせします。 ※指定された日程の変更はできません。	福 島 県 庁	令和5年11月30日(木)

4 試験種目及び内容

試験	試験種目	内 容
第1次試験	教 養 試 験 (多肢選択式)	職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験(短大卒程度30題)
	資 格 加 点 (農業土木・土木のみ)	1級又は2級土木施工管理技士の有資格者に加点
	アピールシート試験 【事前提出】	志望動機、これまでの職務経験の中で身につけてきたこと、自己PRについての記述式による筆記試験
	論 文 試 験	職員として必要な論理性、表現力等についての記述式による筆記試験 ※800字以内
第2次試験	口 述 試 験	民間企業等での職務経験のほか、社会貢献活動をはじめとした幅広い経験などに着目して職員としての資質を見る個別面接(プレゼンテーションを含む。)
	適 性 検 査	職務遂行に必要な適性についての検査

※ 教養試験の得点が一定の基準に達しない場合は、アピールシート試験の評価を行いません。

※ 論文試験は第1次試験で実施しますが、評価は第2次試験で行います。

5 資格加点について(農業土木、土木のみ)

(1) 加点対象となる資格

1級又は2級土木施工管理技士(令和5年7月末日時点で取得済であること。)

(2) 実施方法

次のすべてを満たす場合に加点します。

① 受験申込時に対象資格を選択していること

② 第1次試験当日に、受付で①で選択した資格を証明する書類の原本を提示し、そのコピーを提出すること

※ 後日提出は認めませんので、必ず第1次試験当日に持参してください。

※資格を証明する書類(次のいずれかとする)

- ・ 1級又は2級土木施工管理技術検定合格証明書
- ・ 1級土木施工管理技士の場合は、監理技術者資格者証(有する資格欄に「一土施」の記載があ

(3) 注意事項

受験資格ではありませんので、(1)の資格を持たない方でも受験できます。

有する資格の級の別、数に関わらず、加点する点数は一定です。

6 アピールシート試験について

- アピールシート（別紙様式）に入力し、受験申込時に提出していただきます。
※このほか、職務経歴書（別紙様式）を受験申込時に提出していただきます。
- アピールシートは、第1次試験で評価を行います。また、第2次試験の口述試験の参考資料としても使用します。

7 試験種目ごとの配点

試験種目	第1次試験			第2次試験		
	教養試験	資格加点 (農業土木・土木のみ)	アピールシート試験	論文試験	口述試験	適性検査
配点	60	10	90	30	210	(適否)

※ 適性検査については、適か否の判定となり、得点化の対象とはなりません。

8 得点化の方法

- 第1次試験
 - (1) 教養試験の採点方法 粗点（正答数）に2を乗じて算出します。
 - (2) 資格加点 対象となる資格を有することを確認できた場合に加点します。
 - (3) アピールシート試験 2名の評定者の得点を合計します。
- 第2次試験
 - (1) 論文試験 3名の評定者の得点を合計します。
 - (2) 口述試験 3名の評定者の得点を合計します。
 - (3) 適性検査 得点化する試験種目ではなく、一定の職務適性があるかどうかを検査する試験です。

9 合格者の決定方法

第1次試験合格者は、合計得点の高い順に決定されます。

第2次試験は第1次試験合格者に対して行い、最終合格者は第2次試験の得点が高い順に決定されます。

ただし、それぞれの試験において一定の基準に達しない試験種目が一つでもある場合には、他の試験種目の成績にかかわらず不合格となります。

10 合格から採用まで

- 合格者は、区分試験（職種）ごとに採用候補者名簿へ第2次試験の成績順に登載されます。
- 人事委員会は、任命権者である知事、教育委員会等からの請求により、採用候補者を成績順に提示します。
- 任命権者は、採用候補者の中から、順次採用者を決定します。
- 採用候補者名簿に登載されても、欠員等の関係から採用されないこともあります。
- 最終合格発表後、職歴証明書等を提出できない場合や、必要な職務経験を欠いていることが明らかとなった場合には、採用されません。
- 採用は、原則として令和6年4月1日となります。
ただし、欠員状況等により、本人の意向を確認のうえ、令和6年4月1日以前に採用される場合があります。（試用期間は6か月です。）

11 求める人物像等

本試験は、採用後すぐに中堅係員として実力を発揮していただける方を採用する試験です。県政のために、即戦力として活躍できる、以下のような方を求めています。

- 福島県の復興や、複雑・多様化する県行政の新しい課題の解決に向けて、強い意欲と高い志を持ち、自らの職務経験や能力を発揮できる方
 - 民間企業等で培った豊かな感性や柔軟な発想力、現場感覚をいかして、県行政に新しい視点をもたらし、幅広い分野で組織の活性化に貢献できる方
- ～ 県内在住者に限らず、福島県にUターン・Iターンしたいとお考えの方もお待ちしております。～

《福島県が求める人物像》

- 仕事や自らの行動の向こう側には「いつも県民がいる」ことを意識できる人
…県民全体の奉仕者であることに誇りと自覚を持ち、誰のために、何のために仕事をするのかを常に意識することができる人を求めています。
- 失敗を恐れずにチャレンジできる人
…福島県は東日本大震災からの復興の途上にあり、さらには、地方創生の推進にも全力で取り組まなければなりません。山積する課題や幅広い業務に果敢にチャレンジし、自ら成長し続ける意欲と行動力を持った人を求めています。
- よく聴き、よく考え、わかりやすく伝えることができる人
…県職員の仕事は幅広く、常に組織内外との連携や調整が必要です。多様な価値観を持った人々と誠実にコミュニケーションを取ることができる人を求めています。
- そして何より、福島県をより良くしたいという熱い思いのある人

本試験で県職員に採用された場合、いかすことのできる民間企業等での職務経験の例

- ① 行政事務職にいかすことのできる職務経験（例）
商品企画開発、販路開拓、広告・宣伝等の情報発信、経営コンサルティング、金融関連業務、環境コンサルティング、IT関連業務、国際協力・交流、リスクマネジメントなど
- ② 農業土木職に求められる職務経験（例）
建設会社、コンサルタント等における農業用排水路、ほ場整備、農道、ため池、頭首工、用排水機場、地すべり等の分野に係る農業土木工事の計画、設計、積算、施工管理業務
- ③ 土木職に求められる職務経験（例）
建設会社、コンサルタント等における道路、橋りょう、河川、ダム、海岸、砂防、急傾斜地、港湾、下水道等の分野に係る土木工事の計画、設計、積算、施工管理業務
- ④ 建築職に求められる職務経験（例）
建築設計事務所、建設会社等における建築物の計画、設計、積算、施工管理業務、建築物の確認・検査業務
- ⑤ 薬学職に求められる職務経験（例）
病院、診療所、薬局等における調剤、患者に対する薬学的管理・指導・健康相談対応業務、製薬会社等における品質管理・品質保証業務、医薬品等販売における医薬情報担当者（MR）業務
- ⑥ 心理職に求められる職務経験（例）
医療機関における心理診断、心理療法等の業務、福祉分野におけるソーシャルワーカーの業務、教育現場におけるスクールカウンセラーの業務、各企業等における産業カウンセラーの業務

令和5年度福島県職員（民間企業等職務経験者）採用候補者試験
 アピールシート

区分試験 （職種）		※受験番号 （記入不要）		氏名	
--------------	--	-----------------	--	----	--

※このアピールシートは、第1次試験のほか、第2次試験（口述試験）の参考資料としても使用します。
 ※裏面に記入上の注意が記載されていますので、必ずよく読んで記入してください。

<p>1 志望動機（200字程度） あなたが福島県職員を志望する理由について、具体的に記入してください。</p>
<p>2 自己PR（800字程度） あなたがこれまでの職務経験の中で身につけた知識や能力等を挙げ、県行政のどのような分野において、どのように発揮することができるか、具体的に記入してください。 <参考> P 11 「本試験で県職員に採用された場合、いかすことのできる民間企業等での職務経験の例」</p>

《記入上の注意》

- このアピールシートは、別紙の職務経歴書とともに、受験申込時に電子申請に添付してください。
- 第1次試験のほか、第2次試験（口述試験）の参考資料となることに留意して、必ず本人が作成してください。
- 「区分試験（職種）」及び「氏名」欄を忘れずに記入してください。
- 設問の内容に関するお問い合わせには、一切応じません。

（ワープロソフト等で作成する場合）【原則】

- 人事委員会のHP（「令和5年度福島県職員（民間企業等職務経験者）採用候補者試験」のページ）から、本様式をダウンロードしてください。
(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/saiyou/min.html>)
- ファイル形式は、Microsoft社製のWord（拡張子が「.doc」又は「.docx」のもの）若しくはAdobe社製のPDF（拡張子が「.pdf」のもの）に限ります。
- 文字のフォントはMS明朝、ポイントは12ポイント、1行の文字数は40字とし、必ず1ページに収めてください。
- アピールシートの様式は変更しないでください。また、枠外への入力や、行の増減は行わないでください。

（手書きの場合）

- 提出に当たっては、記入したアピールシートをスキャナ等で読み込み、Adobe社製のPDFのデータファイル形式（拡張子が「.pdf」のもの）に変換したうえで、受験申込時に電子申請に添付してください。
- 必ず1ページに収めてください。また、枠外に記入しないでください。

職務経歴書 (福島県職員 (民間企業等職務経験者) 採用候補者試験)		※受験番号 (記入不要)	___ 枚目 / 全 ___ 枚のうち		
(フリガナ)	最終学歴 (学校・学部・学科)			年齢 (今年4月1日現在)	
氏名	(昭和・平成・令和 年卒)			歳	
①職歴 ※これまでの職歴を全て古いものから記入してください。(公務員、無職の期間も含む) ※これまでの職歴の中で、あなたが最もアピールしたい期間について、 1つだけ○ を記入してください。				受験資格確認 ↓ アピール期間 該当・非該当	
事業所名 (所在地)	所属・役職名	職務内容・勤務時間 ※具体的かつ簡潔明瞭に	実績や経験で培った能力		在職期間
()		(時間/週)			年 月から 年 月まで (期間 年 月)
()		(時間/週)			年 月から 年 月まで (期間 年 月)
()		(時間/週)			年 月から 年 月まで (期間 年 月)
()		(時間/週)			年 月から 年 月まで (期間 年 月)
()		(時間/週)			年 月から 年 月まで (期間 年 月)
()		(時間/週)			年 月から 年 月まで (期間 年 月)
()		(時間/週)			年 月から 年 月まで (期間 年 月)
②在職期間のうち、連続して1か月を超えて職務に従事していない期間 (産前産後休暇を除く。) ※該当ない場合は、「該当なし」と記入。				記入してください。 ②⑤については1枚目のみ	
休暇・休業・退職等の名称/期間			年 月 日から 年 月 日まで (期間 年 月)		
③通算期間 (受験資格となる職務経験について、受験案内 (2 ページ) を確認のうえ記入してください。)				通算 年 月	
④資格					
⑤力を入れて取り組んだこと (150字以内) 例: ボランティア、地域活動、スポーツ等					

※次ページに記入要領が記載されていますので、必ずよく読んで記入してください。
 ※PCで作成する場合は、幅や高さを変えないでください。

職務経歴書記入要領

【記入にあたっての注意】

- 原則として、ワープロソフト等を使用して作成してください。手書きする場合は、アピールシートの記入上の注意（手書きの場合）を併せて確認してください。
- 試験の参考資料となることに留意して、必ず本人が、正確に記入してください。
- 複数枚となった場合には、全てに氏名・最終学歴・年齢を記入してください。
- ①～⑤の欄については、下記に注意して記入してください。
 - ①職歴
 - ・ 令和5年7月末日までの職歴を古いものから記入してください。
 - ・ 民間企業等だけでなく、公務員や無職の期間も含め、これまでの職歴を空白の期間ができないように全て記入してください。
 - ・ 「職歴」欄が足りない場合は、行を挿入せずにページ全体をコピーしてください。
(②～⑤は、1枚目にのみ記入してください。)
 - ・ 人事異動等により所属や職務内容が変わった場合には、同一企業でも複数の欄に分けて記入してください。
 - ・ 「事業所名(所在地)」は、勤務先の名称と所在地(市町村名まで)を記入してください。
無職の場合は、「無職」と記入してください。
 - ・ 「職務内容」は、当該勤務先におけるあなたの職務内容を具体的かつ簡潔明瞭に記入してください。
 - ・ 「勤務時間」は、1週間の勤務時間を記入してください。
(※就業規則・雇用契約等により定められた労働時間です。残業時間等は含みません。)
 - ・ 「実績や経験で培った能力」は、当該勤務での実績や職務経験を通して培った能力(スキル)などについて、具体的かつ簡潔明瞭に記入してください。
 - ・ 「在職期間」は、1月未満の日数は切り捨ててください。
 - ・ 「アピール期間」は、職務経験の中で、あなたが最もアピールしたい期間に1つだけ○を記入してください。
 - ・ 「受験資格確認」は、1週間の勤務時間が30時間以上、かつ、1年以上就業した職歴で、民間企業等の場合には「該当」を、公務員等の場合、職歴を証明することができない場合には「非該当」を選択してください。
 - ②在職期間から除く期間がある場合は、休暇・休業・退職等の名称と期間を記入してください。
(1月未満切り上げ。) 該当がない場合は、必ず「該当なし」と記入してください。
 - ③「通算期間」は、受験資格に該当する職歴(受験案内2ページ参照)の合計年月を記入してください。
 - ④「資格」は、令和5年7月末日時点において保有している各種資格を記入してください。
 - ⑤「力を入れて取り組んだこと」は、①職歴及び④資格以外にあなたが力を入れて取り組んだことを150字以内(厳守)で記入してください。

【記入例】

①職歴 ※これまでの職歴を全て古いものから記入してください。(公務員、無職の期間も含む) ※これまでの職歴の中で、あなたが最もアピールしたい期間について、1つだけ○を記入してください。						受験 資格 確認
事業所名 (所在地)	所属・役職名	職務内容・勤務時間 ※具体的かつ簡潔明瞭に	実績や経験で培った能力	在職期間	アピ ール 期 間	
例1 〇〇建設株式会社 〇〇支社 (東京都〇〇区)	設計課 係員	土木工事の設計・積算・施工監理。 〇〇の技術を導入。住民への説明 対応。 (35時間/週)	〇〇道路〇〇工事 H27.10.12~R5.3.10の場合は、1 月未満の日数は切り捨て。	H27年10月から R5年3月まで (期間 7年 4月)	○	該 当
例2 福島〇〇株式会社 (福島市)	〇〇部 事業企画課 企画主任	〇〇商品の販路開拓のため、市場 調査や〇〇を企画。 〇〇プロジェクトのリーダーを 務める。 (40時間/週)	〇〇改革を実施し〇〇に貢 献(〇〇賞を受賞) 〇〇を〇〇する中で調整力 や交渉力を培い、販路拡大 に貢献	H26年12月から R5年7月まで (期間 8年 7月)	○	該 当
例3:同一事業所で職務 内容が変わった場合 △△株式会社 △△支店 (東京都△△区)	経理グループ グループ員	△△予算管理、△△調達管理。 (40時間/週)	同一企業の経歴を通算する。 (H21.4.1~R5.3.31)	H21年4月から H25年3月まで (期間 年 月)		該 当
()	(広報グループ グループ リーダー	△△の広報活動や社のホームペ ージを制作。△△を取り入れ、 アクセス数がアップ。 (40時間/週)	Webデザインカ	H25年3月から R5年3月まで (期間14年 0月)	○	該 当
②在職期間のうち、連続して1か月を超えて職務に従事していない期間(産前産後休暇を除く) ※該当ない場合は、「該当なし」と記入。						
休暇・休業・退職等の名称/期間	病気休暇				H28年1月5日から H28年3月4日まで (期間 年 2月)	